岩瀬　計介 議員

問 町制60周年記念事業について

答 町の活性化の節目の年としたい

5つの事業実施が決定している記念事業

問 記念事業を一過性のものとせず、町の活性化と結び付けた取り組みは。

答 町長 1つ目は、「衣浦みなとまつり花火大会」で、7月26日（土）に実施予定。

2つ目は、「子ども議会」。

3つ目は、10月12日（日）開催の記念式典・「第5回武豊ふれあい山車まつり」。

4つ目は、11月22日（土）NHKの全国放送公開番組「吹奏楽のひびき」の収録をゆめたろうプラザにて実施。

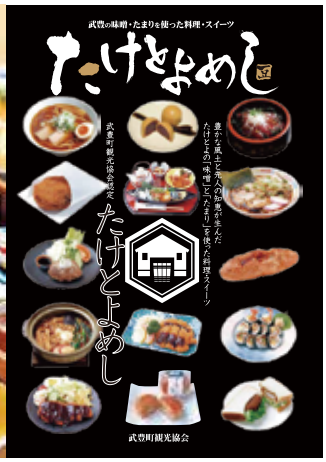
5つ目は、「自衛隊音楽隊コンサート」の実施に向け詳細の打合わせ中。

問 本町の歴史（港・鉄道）や文化・伝統を後世に形として伝えるジオラマを作成し、地域交流センターに展示してはどうか。

答 産業建設部長 交流施設の展示スペースの中で設置を考えていく。

問 武豊の味噌・たまりを使った料理やスイーツ、いわゆる「たけとよめし」などの積極的なPRを。

答 町長 60周年という節目に、伝統文化や観光資源を有効に活用し、町のPRと活性化に繋がる取り組みにしていく。



■武豊グルメ&たけとよめし

後藤　光明 議員

問 老人福祉センターの今後は

答 26年度中に方向性をとりまとめる

具体的な協議が始まる老人福祉センター

問 今後の具体的なスケジュールは。

答 厚生部長 昨年実施した2つの利用実態調査の集計と分析を終えてから、検討会を設置する。

今後の課題やあり方などを協議して、平成27年度からの「第6期老人福祉計画介護保険事業計画」の策定委員会とも協議を図り、平成26年度中に、当該施設について具体的な方向性をとりまとめる予定。

問 温水プールが建設された場合、「入浴施設」や「囲碁室」などの併設は。

答 教育部長 検討材料の1つになると考えている。

問 利用者に対して時間をかけて、丁寧な説明をしていくことが必要であるが、いつ頃どのような方法で実施する予定か。

答 厚生部長 現状の運営と異なる場合は、その内容を利用者に説明する。

また、住民には、広報、ホームページなどを通じてお知らせする。

結果がまとまり次第、遅滞なく、周知期間を十分とる考えである。

■老人福祉センター

問 少子化対策に具体的数値目標を

答 子育て支援事業の一つとして検討

石原　壽朗 議員

社会保障制度に深刻な影響を与える少子化

問 多くの施策を展開するも、町の少子化が進行しているが、今後の対策は。

答 町長 合計特殊出生率は、比較的高い水準にある。

「若者が住みやすい・子育てしやすい町」をめざし、より有効な施策を調査する。

問 若者の「出会いの機会が少ない」との声が多いが、対策を検討すべきでは。

答 教育長 行政の関わり方は難しい。町内で活動する独身者異職種交流団体「T－Box」などとの連携を検討していきたい。

問 税・社会保険料の継続的な引き上げで、若者の手取り収入は低い水準にある。新婚世帯への家賃補助や新築・リフォーム補助などの定住促進奨励制度を検討してはどうか。

答 総務部長 既に同様の制度を導入している事例などを研究し、今後の参考としたい。

問 現在の次世代育成支援地域行動計画の少子化目標は「基準年（平成20年）以上」となっている。具体的目標値を設定すべきだ。

答 厚生部長 現在協議中の「子ども・子育て支援事業計画」の重要項目として検討する。

■T-Box（東北震災復興ボランティア）

問 コール・リコールの取り組みは

答 がん検診台帳を整備し受診勧奨を

加藤　美奈子 議員

がん検診個別受診勧奨制度（コール・リコール）が、国の制度として平成28年度までに受診率50％達成を目指し、スタートした。

問 平成21年度から、がん検診無料クーポン券が配布されたが、受診率は、どう変わったか。

答 厚生部長 無料クーポン事業開始前の平成20年度と比較すると、子宮頸がんは5・9ポイント、乳がんは8・6ポイント、受診率が上昇した。

問 受診率向上のために、どう取り組んできたか。

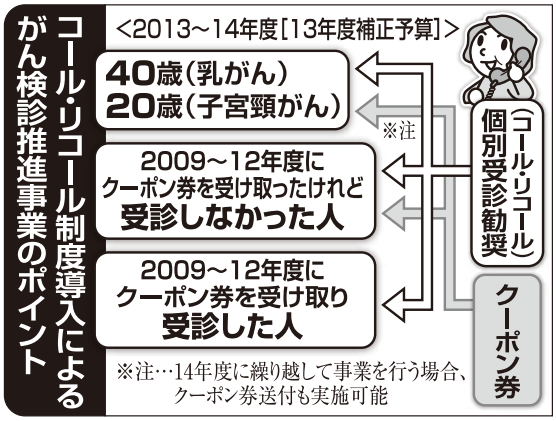
答 町長 「レディースミニドック」の回数を増やしたり、夜間や土日にも検診ができるようにした。

無料クーポンの対象者には、集団検診以外に、個別医療機関でも受けられるよう利便性を図るとともに、未使用者には、再勧奨通知も実施した。

問 コール・リコールの取り組み方法は。

答 厚生部長 平成26年度に、新たに無料クーポンの対象者には、従来と同様にがん検診台帳を整備し、無料クーポン券と検診手帳を送付し、受診勧奨を行う予定。

具体的な取り組み方法は、国から詳細が示された後、効率的かつ効果的な方法を検討する。



■がん検診受診率向上のために

石川　義治 議員

問 公共施設に公衆無線LANの導入を

答 導入に向け、研究していく

災害対策に必要な公衆無線LAN

問 近隣市町での公衆無線LANサービスの導入状況は。

答 総務部長 知多管内で4市1町がケーブルテレビ事業者並びに自動販売機設置者により、公衆無線LANが使える環境にある公共施設がある。

問 東日本大震災では、電話が長時間使えなくなった。新たな伝達手段として、公衆無線LANの導入が必要だと考えるが見解は。

答 総務部長 公衆無線LAN機能付き自動販売機設置や、他の方法も含め、研究していく。

オープンデータ導入に向けて

問 文書管理システムの導入は、将来的にオープンデータ導入に向けた基礎となると考える。進捗状況と今後の取り組みは。

答 総務部長 システム導入の経費や職員の負担増、完全に紙をなくすことの困難さ、費用対効果を勘案し、現時点では見送る。

今後は、クラウド方式によるシステムなども視野に入れ調査・研究する。

※他に、「平成26年度予算について」質問。

小寺　岸子 議員

問 バリアフリーのまちづくり宣言を

答 宣言はしないが、積極的に進める

誰もが暮らしやすいまちの実現を

問 障がいのある方や高齢者に配慮したまちは、みんなが暮らしやすく、外から来た人にもやさしい。やさしいまちを意識して環境を整備し、観光に取り組むことで、そのまちに暮らす方の日常の生活も向上していく。「バリアフリーのまちづくり宣言」をして、町ぐるみで取り組んではどうか。

答 産業建設部長 24年度に長尾山地区の道路のバリアフリー事業が完了した。また、関係法令を制定した。

25年度には愛知県の「人にやさしい街づくり地域セミナー」を実施し、バリアフリーのまちづくりの実現に向けて前向きに進めている。

第5次総合計画にも明記されているので、宣言ではなく、できることからバリアフリーのまちづくりを進める。

■地域セミナー「車いすとゆく、みそ蔵散歩道」

武豊が「新広域ごみ処理施設建設予定地」になった

問 2月17日に、ゆめたろうプラザで住民説明会があった。出席できなかった方のために、町としても説明会の内容の公表を求める。

答 厚生部長 17日の内容は、すでにホームページで公開されている。広報などを活用した情報提供も引き続き行う。

問 半田病院まで運行ルートの延伸を
答 半田市などとの協議が必要

梶田　稔 議員

巡回バス「ゆめころん」が本格運行されて2年になる。「空気を運んでいる」など批判の声があるが、高齢者や障がい者など移動困難者の足として重要な役割を果たしている。

利用を促進するために、いくつか提案したい。

70歳以上無料化と運行ルートの見直しを

問 70歳以上の高齢者および中学生までの利用料を無料化されたい。

バスを小型化して増車し、半田病院やイオンなどへ運行ルートを延伸することを検討されたい。

また、通勤・通学にも利用できるようにダイヤの改正を検討されたい。

答 企画政策課長　料金無料化の拡大は、厳しい財政状況から考えていない。

路線やダイヤの見直しの時期にきている。車両の小型化は考えていない。半田病院への延伸にはバス2台では対応は困難。町内の鉄道駅までコミバスを利用し、半田駅で乗り換えをお願いしたい。

石川橋交差点の改良がすすみ、イオンへの延伸は地域公共交通会議で検討したい。

通勤・通学の利用については現行のダイヤで利用することはできるが、ダイヤ改正という点は、車両の増加が必要となり難しい。

■コミュニティバス「ゆめころん」

※他に「中小商工業者支援の拡充を求める」、「ふるさと納税制度の促進策を」について質問。

住民の声

多賀授産所は家族みんながやりがいを持てる大切な場所

倉知 楯城さん
武豊町手をつなぐ育成会会長

多賀授産所を利用してみえる倉知さんに、編集委員がインタビューしました。

Q 授産所をどのように利用されていますか。

A 息子が、土日を除く週5日間マット作業をしています。

Q 授産所はどのような場所ですか。

A 息子にとっては働く場で、メリハリのある生活ができています。その間、わたしも妻も、地域活動をすることで、地域とのつながりが築けています。

Q 授産所へのご要望は、何かありますか。

A 年度末や月一回の職員会議日は午前中のみの開所となり、本人のリズムが崩れるため、できれば改善してほしいと思っています。

Q 武豊町の福祉へ望むことがありますか。

A 日ごろ感じていることは、安心して暮らせる町にするために、通所施設のキャパを増やすこと、入所施設を整えること、町内での就労の場を広げることなどをすすめていただきたいと思っています。